



2015 紀の国 わがやま国体 へ行ってきました！

平成27年9月26日から28日までの間、「第70回国民体育大会2015紀の国わかやま国体」へ、民泊協力会や地域の代表の皆さんと視察に行ってきました。今月号の「みきゃん通信」では、そのときの様子をご紹介します。

今回の視察では、鬼北町と同じ少年女子バレーボール会場である御坊市立体育館（御坊市）、そして少年・成年男子バレーボール会場である和歌山県立橋本体育館（橋本市）の2会場へ視察に行ってきました。



スパイクを打つ愛媛県の少年女子選手

会場に着くなり、まず目に入ったのは、手作りののぼり旗です。こののぼり旗は、都道府県ごとに作成されており、その都道府県のゆるキャラ、特産品や方言などが書かれていました。地元の園



会場の至るところに設置されている「のぼり旗」と「花」

児、学生や地域の皆さんが、一生懸命それぞれの都道府県について調べて作ってくれたそうです。また、のぼり旗と一緒に花も飾られており、その花が植えられていたプランターに書かれていたのは、「頑張れ」「ようこそ」など選手に向けた温かい応援や歓迎のメッセージ。こうした地域の人たちの手作り感溢れるのぼり旗や花などの装飾を通して、地域を挙げて国体を盛り上げようとする気持ちが伝わってきました。

さらに会場では、無料ドリンクの配布、花の水やりや清掃など多くの方がボランティアとして活躍されていました。私たちを含め、会場を訪れた人一人一人に終始笑顔で対応していたボランティアの方々。会場の装飾だけではなく、そういうボランティアの方の気持ちのこもった対応からも、「おもてなしの心」を感じることができました。



笑顔でドリンクを配布するボランティア

また、視察に参加していただいた皆さんも写真を撮ったり、メモを取ったり、「地元に戻ったら、報告せんといけん！」と熱心に視察に取り組んでいただきました。

えひめ国体開催まであと2年。愛媛県、そして鬼北町を訪れたすべての方が、「いい国体だった」「鬼北町にまた来たい」そう思ってもらえるような国体にしなければならないと強く感じた3日間でした。

えがお 愛顔つなぐえひめ国体鬼北町実行委員会からのお知らせ

新たに3つの民泊協力会が誕生（平成27年10月9日現在）

父野川（日吉地区）、小松（三島地区）、延川（三島地区）の3地区で民泊協力会が設立されました。これで合計19地区となりました。各地区の皆さん、ご協力よろしく願いいたします。

